

# まちの話題

市内の話題を紹介

最も優れた作品集に栄誉

## 第37回詩歌文学館賞贈賞式

5/28

前年に刊行された作品集の功績をたたえる詩歌文学館賞の贈賞式は、日本現代詩歌文学館で3年ぶりに開催されました。

受賞したのは、詩部門が田中庸介さんの「ぴんくの砂袋」、短歌部門が志垣澄幸さんの「鳶語降る」、俳句部門が遠山陽子さんの「遠山陽子俳句集成」。受賞者には一ツ橋綜合財団から鬼剣舞手彫り面と副賞が贈られました。志垣さんは「短歌に向き合えたのは、宮崎にいる仲間のおかげ」とあいさつしました。



東日本古希軟式野球大会で快挙

## シルバー岩手が県勢初優勝

6/10

第21回東日本古希軟式野球大会（5月31日～6月2日、青森県）に出場したシルバー岩手（城澤謙吉代表）は、高橋市長に初優勝を報告しました。

北上と花巻の選手が主なメンバーで、70歳以上の会員23人が所属。市内で週2回練習しています。本庁舎を訪れた三田徳安監督（75歳）は「走攻守そろっているチーム。タイブレークでも競り合うことができる」と士気を高めていました。全日本古希軟式野球大会（10月28日～11月1日、大分県）での健闘も誓いました。

緑に囲まれ自然を堪能

## 第29回春の緑化まつり

5/29

第29回春の緑化まつりは、憩いの森で開催されました。

県緑化推進委員会北上支部が主催し、市民ら約200人が来場。花や飲食物などの販売のほか、木工体験やシイタケほだ木の植菌体験なども行われました。高橋蘭々さん（黒西小4年）は「木工体験では釘打ちが難しかったけど、植菌体験では上手く種駒を打てた。楽しかった」と目を輝かせました。



地域全体でがんと向き合う

## RFLJきたかみ2022

6/11

リレー・フォー・ライフ・ジャパンきたかみ2022は、みちのく民俗村で行われました。

3年ぶりの会場開催で、がん患者の支援活動のためリレーウォークやステージイベントなど約170人が参加。会場内では、「見守ってくれてありがとう」「笑顔」などのメッセージが添えられたルミナリエ（イルミネーション）がコース全体を彩り、支援の輪を広げました。



ひと味違う雨の山歩きを満喫

## 夏油三山山開き

6/12

夏油三山山開きが行われ、関係者らが神事に参列して今年一年の山の安全を祈願しました。夏油温泉開発連絡協議会長の高橋市長は「多くの人に夏油の自然に触れ、楽しんでいただきたい」とあいさつしました。

神事後、有志ら約30人が駒ヶ岳に登頂。あいにくの雨模様と例年より多い残雪の中でも、しっとりとした風情を楽しんでいました。

